

第18回APEC首脳会議
「横浜ビジョン ～ ボゴール, そしてボゴールを超えて」
首脳宣言 (骨子)

これまでのAPECの歩み

- APECは、ボゴール目標によって示された道順に従って進み、アジア太平洋地域は、世界経済の原動力、そして成長エンジンとなった。
- ボゴール目標に向けたAPEC2010年エコノミーの進展に関する報告書を承認。13のエコノミーがボゴール目標の達成に向けた顕著な進展を遂げた。
- 域内の自由で開かれた貿易及び投資を達成するという揺るぎないコミットメントを再確認。

現下の好機と課題

- 21世紀は、新たな好機と新たな課題とを投げかけている。
- アジア太平洋地域の経済は、近年の経済金融危機から回復しつつあるが、不確実性は未だ残っている。世界的な需要をリバランス・強化し、健全な財政運営を追求し、インフラ・中小企業・家計・グリーン投資等の主要分野に対するファイナンスを促進。より強固で強じんな世界金融システムを構築。
- ドーハ開発アジェンダの迅速かつ成功裏の妥結への強いコミットメント。
- 保護主義を抑止するための継続的な取組において、新たな輸出制限を課すこと、又は輸出刺激措置を含むすべての分野におけるWTO非整合的な措置を実施することを控えるとの2008年に行った現状維持（スタンドスティル）に関するコミットメントを2013年末まで延長。
- 国連の気候変動交渉に献身的であり続けるとのコミットメントの表明。

APECの将来

我々は、課題に立ち向かってこれを克服するとともに、より完全に統合されるための好機を最大限に活用することができ、より質の高い成長及びより安全で安心な経済環境を実現するアジア太平洋地域を構想する。

1. 我々の構想するAPEC共同体

(1) 「緊密な共同体」：より強固で深化した地域経済統合を促進

- 物品・サービス・資本の移動に対する障壁の削減。ビジネス関係者のより円滑な移動。税関関連手続の簡素化・調和。規制関連協力の深化。

(2) 「強い共同体」：より質の高い成長を実現

- APECエコノミー内及びエコノミー間において均衡ある成長を推進。

社会のあらゆる層がその潜在力を発揮するための機会を提供。

- 低炭素でグリーンな経済の加速。イノベーションの推進。

(3) 「安全な共同体」：より安全な経済環境を提供

- テロ、感染症、自然災害、食料不足等の発生抑止、備えの強化を通じて、自然及び人から生じる経済活動に対するリスクを最小化。

2. 我々が描くAPEC共同体の構想への道筋

(1) 緊密な共同体への道筋

- 2020年のポゴール目標達成に向けて地域経済統合の取組を推進。
- アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の実現に向けて具体的な手段をとる。FTAAPは、ASEAN+3、ASEAN+6及び環太平洋パートナーシップ（TPP）協定等の現在進行している地域的な取組を基礎として更に発展させることにより、包括的な自由貿易協定として追求。APECは、投資、サービス、電子商取引等の分野において分野別イニシアティブに関する作業を継続し、更に発展させることにより、FTAAPの追求に貢献。
- 「APEC投資戦略」の実施。サプライチェーンの能力の2015年までに10%改善との目標を達成すべく取り組む。認定事業者制度に関する取組を継続。

(2) 強い共同体への道筋

- APEC成長戦略を発表し、2015年に向け、着実に実施。構造改革のためのAPEC新戦略の承認。人材及び起業家精神の育成。グリーン雇用・技術・産業の創出。情報通信技術の利用の高度化。

(3) 安全な共同体への道筋

- 食料安全保障、防災、感染症対策等に関する具体的取組の促進。

(4) すべての道筋における前進のための経済・技術協力

- 人材養成・技術普及を含む経済・技術協力（エコテク）活動の強化

結び

今後、地域経済統合を強化・深化させ、貿易・投資に対する障壁に取り組むための具体的なイニシアティブを策定・実施し、将来における質の高い、持続可能な成長を確保するための作業を加速化する。

(了)